

複合施設を検討する際の視点



相模原市役所

こども・若者政策課

令和 6 年 8 月

複合施設を検討するにあたっての考え方

【方針（R 4. 8の基本構想方針より抜粋したもの）】

- 地域とともに子どもが安心して楽しく学び、遊べる場所を確保することで、子どもを育む拠点となる施設
- 各世代が活躍でき、地域間や世代間が緩やかに繋がることのできる施設

【複合施設のコンセプト】

- 各機能の目的を尊重しつつ、時代のニーズに合った空間
⇒これまでの公民館利用者や児童館利用者も利用しやすくする。
- こども・若者と地域の人々が交流し、緩やかにつながることができる共有の空間
⇒新たな事業やコミュニケーションを誘発する。
- 幼児から若者までが気軽に立ち寄り、交流しやすい空間
⇒新たな利用者を獲得することで活性化を図る。
- 隣接する保育園・陽光園利用者との連携しやすい空間
⇒保護者等の居場所となることも期待する。

複合施設の機能整理（案）

- 主に周辺の地域住民を対象とした施設であり、他地区への影響を考慮しつつ、R4年度市民検討会での意見を踏まえた機能となるように以下のとおり整理します。
- ここで挙げた仮称や具体的な機能、使い方はあくまでイメージであり、今回の光が丘地区複合施設市民検討会の意見等を踏まえて最終的に決定します。

公民館機能

○「図書室」と「滞在型図書室」

公民館の図書室として位置付ける。市民検討会成果で示されている滞在型図書室は、勉強やデスクワークのできるフリースペースを設ける方向で検討する。

○「料理実習室」と「調理室・ランチルーム」（調理室部分）

ガス、水道を使うことから、有料とするため、公民館として位置付ける。

児童館機能

○「保育室」と「保育室・遊戯室」と「遊戯室・図書室等」

児童館の遊戯室として位置付ける。独立した図書室は必須であるため、公民館図書室とは別に「（仮称）子どもの本のくに」を作る。

○「（仮称）ワイワイルーム」（防音多目的室）

市民検討会成果を踏まえ、児童館の遊戯室（防音機能）として位置付ける。日中は子どもが自由に使え、夕方以降は中高生の個人利用も可とする。

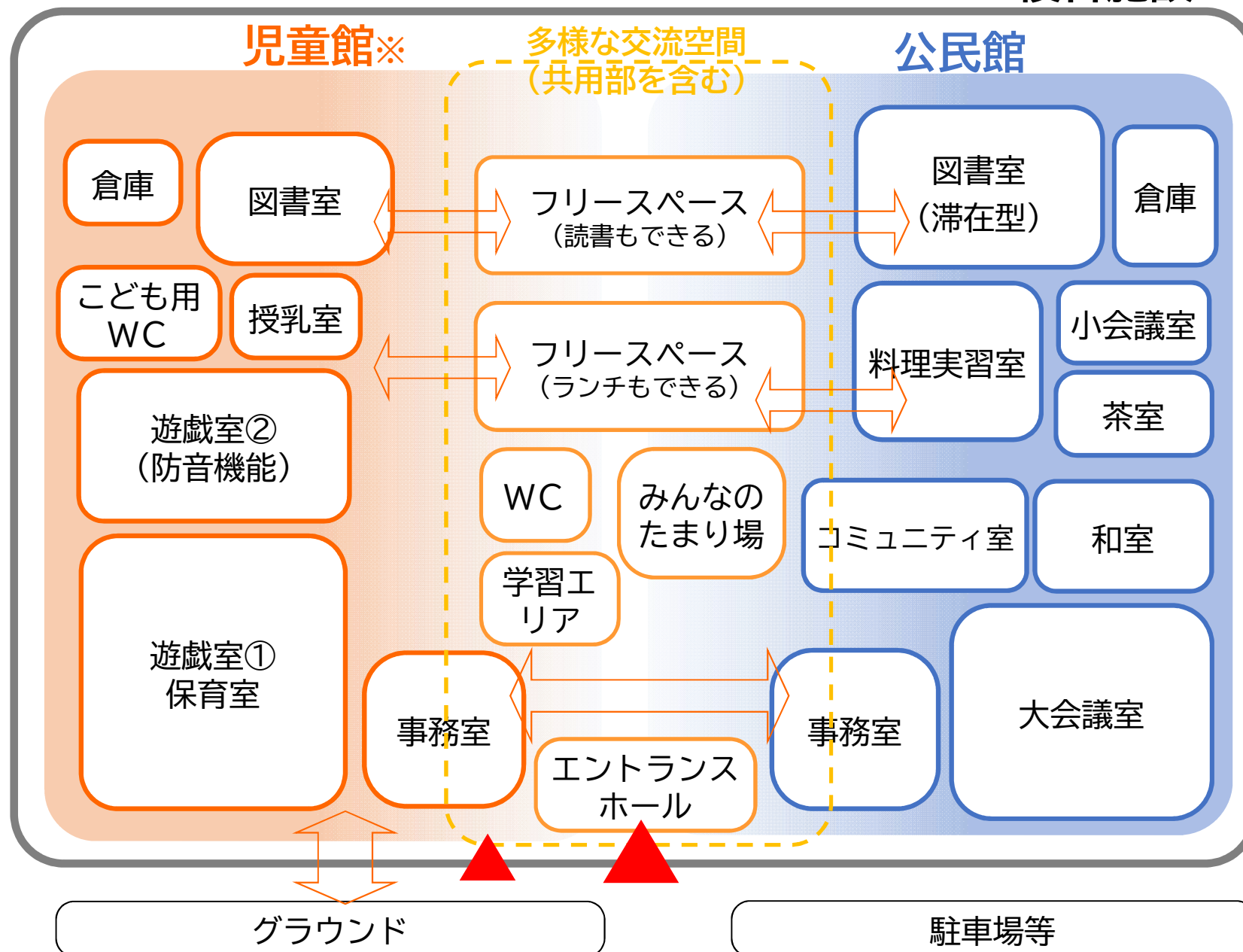
○「調理室・ランチルーム」（ランチルーム部分）

市民検討会成果を踏まえ、食事のできるフリースペース「（仮称）もぐもぐスペース」を設ける方向で検討する。

複合施設の配置イメージ（案）

【複合施設の配置イメージ】

複合施設



※用途制限により児童館の共用部を含めて600㎡以下